

地方創生・しがブランド推進対策特別委員会 行政調査

1 調査日 平成30年7月17日（火）

2 調査の概要

(1) 有限会社アグリ蒲生（東近江市蒲生寺町）

調査内容 ・ 施設の概要について

有限会社アグリ蒲生は、ＪＡ滋賀蒲生町の出資により設立された会社で、安全・安心にこだわって独自に花や野菜苗を育て販売している。また、野菜の集出荷施設も整備し、ミニトマトのあかねちゃんガーネットを特産品として開発し、栽培している。有限会社アグリ蒲生で苗からつくられた農産物は、ＪＡ滋賀蒲生町の直売所「旬菜館さくら」で販売されている。

こうしたことから、有限会社アグリ蒲生を訪問し、独自性を生かした農産物の生産現場について調査を行った。



(2) ＪＡ滋賀蒲生町（東近江市市子殿町）

調査内容 ・ ＪＡ滋賀蒲生町等の皆さんとの県民参画委員会

ＪＡ滋賀蒲生町管内は、日野川とその支流である佐久良川の流域にひらけた地帯となり、環境こだわり米をはじめとして錦大豆、丹波黒豆、早生黒豆等を栽培している。

そのような中、レーク６５が（株）スシローへ出荷されており、特別栽培米研究会「ＪＡ滋賀蒲生町活活楽楽篤農クラブ」で契約栽培されている日本晴は、奈良県の「柿の葉すし本舗たなか」に出荷されている。また、極晩性品種「丹波黒」は兵庫県の（株）小田垣商店に出荷されている。

このように、域内農家の生産意欲を駆り立てるよう、農協としての規模は決して大きくはないところを生かし、独自の販路を開拓して、域内の生産者に作付等の指導を行っている。

こうしたことから、県産農産物におけるブランドのあり方や流通方法の参考にするため、県産農産物の販売促進について、ＪＡ滋賀蒲生町、（有）アグリ蒲生および（株）小田垣店

の皆さんと県民参画委員会を実施し、意見交換を行った。



(3) 滋賀県菓子工業組合および和菓子研究団体滋賀二六会（会場：滋賀県農業技術振興センター加工指導センター（近江八幡市安土町大中））

調査内容 ・ 組合および滋賀二六会における人材育成および新商品開発の取り組みについて

滋賀県菓子工業組合は、県内の菓子関係団体から構成され、滋賀羽二重もち米の原料共同購入、菓子技術の講習会や菓子技能検定試験の実施などを通じて、滋賀県の若手菓子職人への菓子技術の向上や販路拡大に向けた事業を展開している。

同組合では、滋賀羽二重糯の可能性を探り、新しい滋賀県産のお菓子を提案するブランドとして「tae」を立ち上げ、その第一弾として、平成 29 年には卵を使用せず、滋賀羽二重糯を使用したおもちプリン「湖の餅」を発売され、昨年三重県で開催された第 27 回全国菓子大博覧会に出店され、試食も行われた。

滋賀二六会は、県内における菓子の研究団体で、その多くが、菓子工業組合員である。

こうしたことから、県農業技術振興センターで開催される同組合および滋賀二六会合同の講習会を視察するとともに、若手菓子職人の技術の研鑽や伝承などの産業人材育成および新商品開発における取り組みについて調査を行った。

